

平成29年度卓話集会におけるディスカッションの概要

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
1	虫窪	全国との比較など、統計的に大磯町の健康寿命はどのようになっているか。	全国平均や神奈川県平均とほぼ同水準であり、町民の健康意識が高いことの表れであると考えている。引き続き健康増進事業に取り組むことで、健康寿命と寿命の差を限りなくゼロにしていきたい。 町民も町の優れている点を意識することでもっと努力するようになると思うので、町が誇れることを町民に伝えていくことも行政の重要な役割であると考えている。
2	虫窪	他市町と比較すると国民健康保険税が高い水準にあるように思う。企業を呼び込まないと下がらないのではないか。	大企業の従業員は社会保険となるので、国民健康保険の加入者にはならない。国民健康保険は自営業者などが主な加入者である。 国民健康保険税の負担を減らすためには、皆さんが元気になって医療費を減らすことが大事である。町の扶助費は右肩上がりであったが、さまざまな見方はあるけれども、その伸びが鈍ってきたように思える。7年間取り組んできた健康事業の成果が現れてきていると感じている。
3	虫窪	医療費負担については国でも問題になっている。健康な人がいる一方で、高額な医療費がかかっている人もいる。健康な人を増やす施策が大事である。そのためには、働くなど強制的にでも体を動かすことが大事であると感じる。	医療費で考えると、最悪の状態は人工透析が必要となることである。人工透析の医療費は、1人1年当たりで500万円程必要と言われており、町にとっては莫大な金額である。町では予備群の方を対象に「プレミアムおあしす」を実施し、その発症を遅らせようとしている。僅かではあるが、発症が遅れた分だけ町財政負担の抑制につながっている。
4	虫窪	イノシシ被害が多く発生している。	講習会を開き、地域で力を合わせて「イノシシの習性を利用する(潜み場をなくす)こと」、「エサとなるものを放置しないこと」を徹底し、生息域を山に戻していくことを伝えてきており、引き続きこの考えに基づき対策に取り組んでいく。地道に考え方と対応策を広めていくしかないと考えている。実際に効果があったという声も聞いているので、力を貸していただきたい。また、被害の多い地域においては、罠による捕獲も継続していく。
5	虫窪	イノシシ対策として、電気柵を設置する人が増えている。農家には町や農協の補助もあると聞いているが、農家以外も対象にしてみようことはできないか。多少でも助成金があれば、対策に取り掛かりやすい。	電気柵等の自衛策の支援について、今年度から対象者の拡充を図っている。対象者の範囲については、確認のうえ、後日回答する。 後日回答内容:今年度、補助対象者を拡充し、以下の①、②いずれかの方が対象となる。 ①農業または林業で収入を得ている方 ②農林業で収入を得ていなくても、農地を所有していて、なおかつ農地を利用している方(販売用ではなく、自家用の農業でも可)